

港で港湾施設の役割を親子で体感！

「夏休み、親子で楽しむ！清水港見学会」を開催

1. 内容

平成28年8月19日、清水港で小学生の親子を対象とした「夏休み、親子で楽しむ！清水港見学会」（主催：一般社団法人清水建設業協会、共催：清水港湾事務所）を開催し、9組20名に参加していただきました。

清水港は日本経済にとって重要な国際拠点港湾として位置づけられています。港を見渡せる高所や海上からコンテナターミナルやエネルギー関連施設、チップ、穀物などのバラ貨物を実際に見るとともに、模型を使った防波堤の効果を体感しました。

また、主催者である一般社団法人清水建設業協会からは「港湾施設の重要性とともにその建設に貢献していること」「建設業がこの地域に果たしている役割」などが説明され、港内の港湾施設の機能や港の役割、建設業への理解が深まった良い取り組みとなりました。



8/19 親子見学会記念撮影



主催者挨拶（一社）清水建設業協会 会長

2. 当日のスケジュール

日時：平成28年8月19日（金）

場所：清水マリビル、観覧車「ドリームスカイ」、港湾業務艇「まさき」の船上など港内
清水マリビル7階展示室にて

9:00～ 9:05（5分） 主催者挨拶

9:05～ 9:35（30分） 清水港の概要説明、港湾施設（防波堤）の効果実験

【1班】

9:45～10:30（45分） 港内見学

10:50～11:10（20分） 観覧車「ドリームスカイ」

【2班】

9:55～10:15（20分） 観覧車「ドリームスカイ」

10:30～11:15（45分） 港内見学

【1班2班合流】

11:20～11:30（10分） 主催者挨拶、解散

3. 見学の様子



<港湾施設（防波堤）の効果実験①>



<港湾施設（防波堤）の効果実験②>



<観覧車からの景色>



<港内見学の様子>

4. 参加者の感想（抜粋）

- ・ 清水に住んでいながら知らないことがたくさん知れてよかった。
はじめて港を船でみるのができた。
- ・ 普段は陸側からしか見ることがないところを海側から見られて貴重な体験ができた。
- ・ 説明を受けてから実物を見たので理解しやすかった。
- ・ 防波堤の実験はとてもよかった。文章よりわかりやすい。
- ・ 船に乗ったのが楽しかった。色々な船があった。
乗った船より何倍も大きい船や小さい船もたくさん見られた。
- ・ 初めて舟に乗ってマグロの水揚げが見られてよかった。
- ・ 観覧車によって景色、色がとてもきれいだった。

5. 配布先： 中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、静岡県政記者クラブ、
静岡市政記者室、港湾空港タイムス、港湾新聞、日本海事新聞、海事プレス

6. 問合せ先：
国土交通省 中部地方整備局 清水港湾事務所 企画調整課 堀池(ほりいけ)、坪倉(つぼくら)
電話 054-352-4148